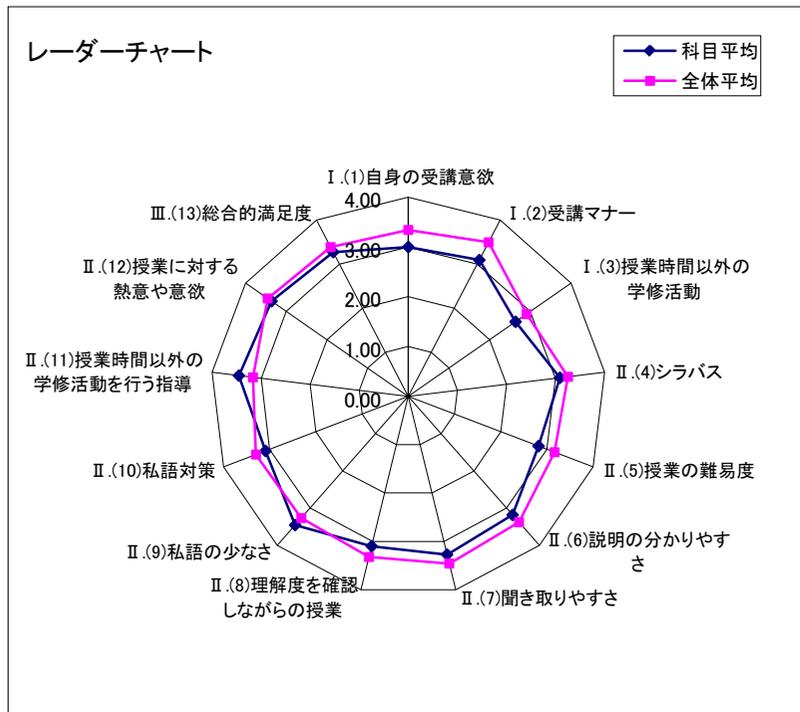
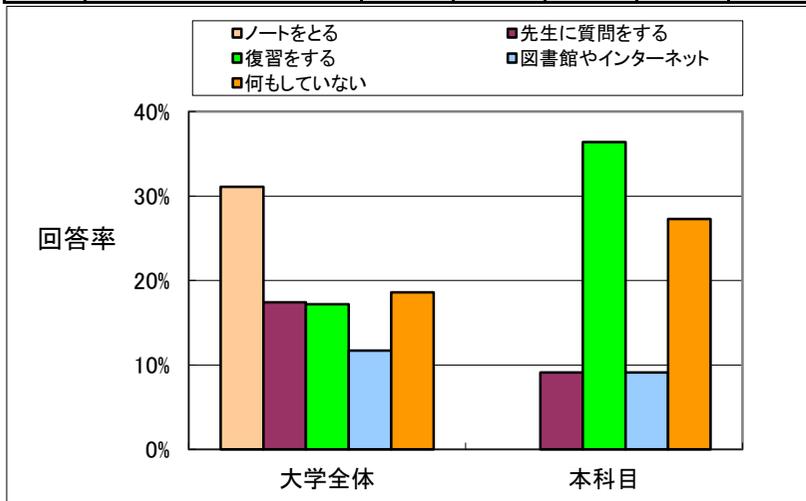


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	0.0	9.1	36.4	9.1	27.3



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.00	3.34
	I.(2)	3.09	3.49
	I.(3)	2.64	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.09	3.26
	II.(5)	2.82	3.16
	II.(6)	3.18	3.38
	II.(7)	3.27	3.46
	II.(8)	3.10	3.32
	II.(9)	3.45	3.27
	II.(10)	3.09	3.30
	II.(11)	3.45	3.17
	II.(12)	3.36	3.46
	総合評価	III.(13)	3.27

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	2.91	3.25
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.20	3.31
II.(4)~(12)		
総合評価	3.27	3.39
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	1315
科目名	プログラミング基礎演習
教員名	

①授業計画の達成度について

アンケート結果からは見えてこないが、当初の目標としていた範囲より少ないところまでしか授業が進まなかった。具体的には、ポイントなどC言語独自の部分を扱うことができなかった。ただし、繰り返しや条件分岐、関数などほとんどのプログラミング言語に共通する部分はカバーできたので、問題はないと考えている。

②授業の進め方について

説明の分かりやすさや聞き取りやすさの評価は全体の平均値より小さい。演習科目としての性質上、説明より実際にソースファイルを打ち込むことがメインとなっていたが、もう少し、説明に時間を使うべきだった。難しすぎると考えている受講生もいたことから、この点は重要であると考える。私語はほとんどなかったもので、特に対策は必要なかった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

プログラミングは普段から自分で考え、ソースファイルを打ち込んでいくことが重要で、しかも、その努力に比例するように実力が付いていく分野である。今回は、毎回課題を1問ずつぐらい宿題として出していたのだが、②でも述べた通り、授業中の説明時間をもう少し増やすとともに、課題をもう少し多めにし、さらに、学生ごとに問題を変えるようにしていこうと思っている。